

ともに、輝くために

校長 石村直義

新緑や薫る風を清々しく感じる時季になりました。新入生の皆さんも入学して約一カ月あまり、登下校を含む学校生活に慣れてきたことでしょうか。4月12日の歓迎行事は活水の東山手キャンパスと水辺の森公園を使う新しい形で行われました。天候にも恵まれ、笑顔があふれ、歓声があがって互いに親睦を深めるよい行事になったことと思います。そのように楽しく充実した学校生活を送ることができている人が多い中で、ちょっとした壁にぶつかって困惑している人もいるかもしれません。周囲に寂しそうにしている人、一人であることが多い人はいませんか。自然な声かけから、相手を知り、ともに過ごすきっかけなどをつくってほしいと思います。悩みを持っている人は我慢をせずに、仲間や信頼できる大人に話してみてください。学校には専門の外部カウンセラーも週に一度来校していますから、学級担任や保健室の濱口先生に申し出て相談予約をしてみましょう。話を聞いてもらうだけでも、心が軽くなるものです。

先日、或る講演会に参加し、講師のことばに傾聴しました。「人との出会いには意味がある」「一人で頑張っても一人分」「人は足りないからこそ助け合える」「勇気を出して頼ろう」「頼られたら助けよう」「自分の自由は他人の自由を守る」「すべては優しさからはじまる」(植松 努さんのことば)

聖書に「善いサマリア人のたとえ」と呼ばれる箇所があります。(ルカによる福音書10章25-37節)
「隣人を自分のように愛しなさい」という主イエスの教えです。この聖書を読んだとき、自分をどちらの側に置いて考えるでしょうか。助けた人の側でしょうか、助けられた人の側でしょうか。「隣人」とは自分以外の別のだれかと考えるのが自然ですが、普段の生活の中で、自分が助ける側にばかりいるとは限りません。助けてもらう側、助けてもらいたい側になることもしばしばです。かつて自分が辛い思いをしていた時、周囲の人からの「おはよう」や「ありがとう」という何気ない一言が心に染みわたって涙が出た、その言葉に救われた、そんな経験があるという人も少なくないのではないのでしょうか。

私たちに注がれている「活ける水」の恵みを感謝をもって受けとめ、周囲の人とわかちあい、自分の幸せ、他者の幸せを実現していく＝「わたし、輝く。ともに、輝く。」をつくっていきましょう。

5月行事予定



6月行事予定

- 6月(土) 高総体(2日まで)
- 3月(土) 代休
- 1日(土) 中総体壮行会⑥(40分授業)
- 8日(土) 中総体(9日まで)
- 高Ⅲ模試・高Ⅱ土曜課外
- 6月(振替休日)
- 13日(月) 中間考査(〜15日)
- 15日(水) 中学特別行事
- 16日(木) 中学生徒総会⑥
- 17日(金) 中1高1耳鼻科・眼科検診
- 18日(土) 花の日礼拝 施設訪問(放課後)
- 19日(日) 土曜課外
- 20日(月) ペンテコステ
- 22日(水) 連合音楽会(合唱)
- 23日(木) 生徒健康診断①
- 24日(金) 高校生徒総会
- 25日(土) ペンテコステ礼拝
- 26日(日) 生徒健康診断②
- 27日(月) 中学英語暗唱大会
- 28日(火) 中高一進路説明会
- 29日(水) キリスト教講演会(特別時間帯)
- 30日(木) 英検一次
- 31日(金) 教会出席日②
- 高総体開会式 中高①④
- 中高総体関連40分授業(〜5月31日)

ようこそ！ 活水へ 2024年入学式

まだ桜が残る4月8日(月)午後から中学・高等学校の入学式が行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生がチャペルに入場して式が始まりました。礼拝形式で式は進み、初めて讚美歌を歌い、聖書を読んだ後、入学許可書を各クラス代表の生徒が受け取り、校長、院長のお話を聞き、学年の教員団の紹介などを終えて校歌を歌ってから退場となり式を終えました。希望に満ち溢れた新入生の活水での第一歩を歩み始めた入学式でした。



(平野智也)

一新任の先生方

○古川丈晴先生

活水中学高等学校の皆さん初めまして。ご縁があり今年度からお世話になります国語科の古川丈晴と申します。県外出身者ですが、「活水」の名はかねてから耳にしたことがあり、歴史ある伝統校で働けることをありがたく思います。新入生歓迎行事でその場で自らケーキを作成するなど、「凛々しく逞しい」活水生の皆さん。私自身、教員歴20年近くになりますが、活水では「ルーキー」として、皆さんと共に歩んでいきたい所存です。



○江上晴香先生

この度ご縁があり、4月より勤務させていただいております江上晴香と申します。教科は保健体育、部活動はサッカー部、1年B組の担任をさせていただいております。よろしくお願ひいたします。歴史が深く、伝統ある学校に勤務させていただきとても光栄に思っております。最初、勤務したときに驚いたのが、学校にチャペルがあったことです。人生の中でチャペルに行く機会が少なかったのが最初は別世界にいるような感覚でした。今となっては、毎朝の礼拝、集会時などチャペルに行く機会も多いので活水の象徴できる場所だと感じています。また、生徒から声大きいといわれることが多いです。元気だけが取り柄なので生徒に負けにくいくらい元気よく頑張ります！よろしくお願ひします。

○ガブリエル アントニオ先生

みなさんこんにちは！ガブリエル アントニオです。中学・高校のオーラルの授業を担当します。活水のような素晴らしい学校で教えることをとても嬉しく思っています。生徒と過ごしていると、「長崎での学生時代」(長崎の中学校に通っていたことがあります)のことや、その経験を思い出深いものにしてくれた先生やクラスメイトのことを思い出します。私も生徒にとって外国語の勉強が思い出深い経験になるように、温かく、生徒が挑戦したくなるような授業の雰囲気作りができるようにベストを尽くします。活水のみなさんと仲良くなりたいです。みなさんのこれからの日々が充実したものになりますように！

CIF (クリティカル・イシューズ・フォーラム)

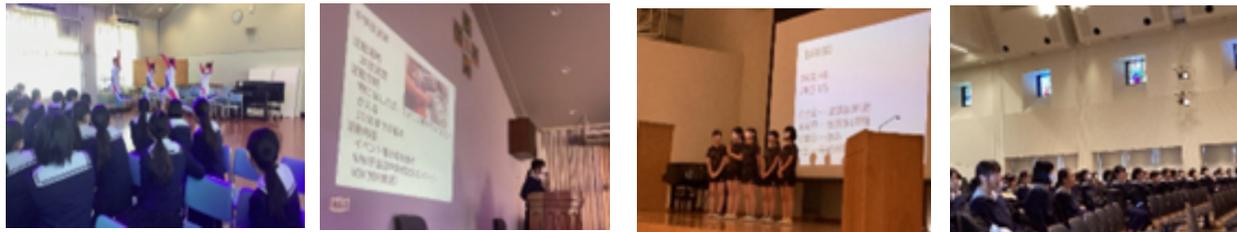
4月3日(水)～9日(火)アメリカカリフォルニア州モンレーでCIFが開催されました。本校からは代表として平和学習部部長ⅢA英語科戸村楓さんが参加しました。「若者教育を通して核兵器の廃絶と増加の抑制を促進する」ことを題としてアメリカや日本各地から参加した学校の発表や取り組みを知ることができました。各校の発表後はパネルディスカッションを通しての質疑応答やグループに分かれて意見を交換するなど学びの多い貴重な機会となりました。



(喜明愛土)

部活動紹介 一中高生徒会一

4月10日(水) 中学高校新入生歓迎の思いを込めて、生徒会と各部活動が準備を重ねて当日を迎えることができました。中学は午前中の特別時間に実施し、主にスライドを使いながら紹介し、吹奏楽部のアンサンブル演奏、新体操の演舞を通して部活動の楽しみを生徒みんなで見ることができました。高校は、放課後の1時間を利用し、動画やスライドを活用しながら、1分30秒という限られた時間の中で、特色ある部活動紹介が展開されました。新入生にとって緊張と不安の毎日をご過ごしている中で、先輩たちの楽しくユーモアあふれる姿を見ることができて、生徒みんなが笑顔に溢れた時間を過ごすことができました。(岩永崇史)



「Let's Try! わくわくまるごと活中体験」が始まりました!

4月27日(土)、「イースターってなに?」を皮切りに「まるごと活中体験」が始まりました。今回は県内外の小学1年から6年生までの児童・保護者の方々合わせて26名の参加がありました。

本校のYWCAの生徒たちのイースターについてのクイズや絵本の読み聞かせの後、卵の殻にデザインを描いたり、ゆで卵にお気に入りのシールを貼ってオリジナルイースターエッグ作りをしました。その後チャペルに移動し、児童全員でエッグハンティングやゲームをおこない、最後は「小学生vs.活水生」で卵運びリレーを行いました。「まるごと活中体験」は今後全9回行われます。また、Kwasu i ジュニアブラスも計画しています。詳しくはHPをご覧ください。一緒に活中のリアルを体験してみませんか。(重松洋平)



詳細・申し込みはこちら →



オリジナルトートバッグ!

活水オリジナルトートバッグデザインコンテストで最優秀賞を受賞した山田佳音さん(高Ⅲ)の作品です。



高川進路説明会

4月9日(火)、高校Ⅲ年生進路説明会を実施しました。昨年度卒業生アンケートによると、64%の生徒が高校Ⅲ年生で最終進路を決定していました。また、最終進路への満足度では満足74%、やや満足25%と満足度が非常に高かったです。これからの4か月が進路を決める上で、とても大切な時期となります。ご家庭でも、ぜひ、お子様とごいっしょに話す機会をお持ちください。

(古田雄介)



長崎市国際観光大使 石川綾子さんとの共演

4月29日(月)ブリックホールで行われたバイオリニスト石川綾子さんと吹奏楽部がステージでコラボをしました。石川さん自身が作曲された「架け橋」という曲でした。音楽ですべての人をつなぐ・・・という意味がこめられています。プロの方たちとの共演のため大変緊張しましたが精一杯の笑顔と心をこめた演奏で多くの方たちから拍手をいただきました。貴重な経験ができました。

(杉町たまみ)



大会成績等

〈吹奏楽〉

長崎県中学校文化活動推進校指定
長崎県高等学校文化活動推進校指定
(長崎県教育委員会教育長より)

〈高校新体操〉

ジュニアスポーツ推進事業育成校指定
(長崎県教育委員会教育長より)

L'ecrinCup

【団体】6位 城野・増浦・上村・遠藤・久米

【個人】

シニア種目別リボン2位 久米つづり
シニア種目別ボール3位 上村瑠花
シニア種目別フープ8位 増浦寧

〈弓道〉

ジュニアスポーツ推進事業強化校指定
(長崎県教育委員会教育長より)

長崎市長・市議長杯争奪弓道大会

女子団体 優勝 活水Aチーム
濱松美幸、今出いくみ、平田明日羽
準優勝 活水Fチーム
田邊優、川田心晴、中山梨優
女子個人 高校の部 第3位 中山梨優
第4位 平田明日羽
第5位 川田心晴

〈図書委員会〉

長崎県高等学校文化活動推進校指定
(長崎県教育委員会教育長より)

〈バレーボール〉

長崎地区高等学校バレーボール春季大会 3位
長崎県高等学校男女バレーボール春季選手権大会 3位

(岩永崇史)



今月の聖句

一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話し出した
使徒言行録 2章1節~4節

私たちに誕生日があるように教会にも誕生日があります。それがペンテコステです。「ペンテコステ」は、ギリシャ語の「50」という意味でイースター(復活祭)から数えて50日目にあたります。「聖霊降臨日」とも言われ、クリスマス・イースターと並ぶキリスト教の三大祝祭の1つです。

イエス様が天に昇られた後、神様は聖霊(神様の力)を弟子たちに与えられました。この神様の力によって弟子たちは、いろいろな国の言葉を話すようになり、やがてイエス様のことが世界中に広がり、教会が誕生し、この教会によって私たちの学校も建てられました。聖霊は、私たちにも注がれています。日々の生活の中で勇気を出さないといけないとき、きっと神様の力が助けてくれるでしょう。

(常泉晶子)